



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈祷会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈祷会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「祈りとは」

北海道在住の定家都志男師はその生涯、祈りとは何かを求めて来られた先生である。祈りとはこんなにも味わい深いものかと、改めて思う。

「母に夜半、頭に激痛が走りました。私は救急車を呼ぶこともできず、それこそ夢中になって、『神様、どうぞお助け下さい』と祈り続けました。あんなに祈ったのは、生まれて初めてでした。するとどうでしょう。しばらくすると母は、すやすやと眠るようになりました。神様って一生懸命に祈るなら本当に聴いて下さるんですね。こんな話は特に珍しいことではない。聞く者は感心し、やはり祈りは大切なことであると思うのである。だが、祈りをするということ、祈りが聴かれるということが、このようなものだと思えば、何となく物足りないような、寂しいような気がしないでもない。もちろん、取り立てて、こうしたことはまちがい、というわけではないけれども。財布の中に五千円持っている人が買い物に行くなら、彼女が買うのは千円か二千円か、いずれ五千円以下に決まっている。お祈りも、自分の持っている信仰という、財布の中身以上のものではあり得ない。祈りは小さすぎるといえることはない。しかし、下駄の緒が切れた時には、神様にお願いするより、家のお婆ちゃんに頼んだ方が早いかも知れない。このような祈りに終始しているとすれば、祈る方の信仰の成長は停止するのではなからうか。祈りは自己満足でも自己陶醉でもない。

一方、バアルの預言者たちが集まって、刀と槍で身を傷つけるような悲惨な祈りを目指しているとすれば、それは自己陶醉であろう。そのようなことが今日も行われ、確信なき人々を右往左往させているとすれば不幸なことである。祈りが聴かれるということは、あのこと、このこと、その時ではなく、もっと総合的なものである。『生きてゐるのは、もはや、私ではない。キリストが、私のうちに生きておられる』(ガラテヤ二・20)と言ったパウロは、キリストのうちに自分を見いだすことを忘れなかった。祈りとは注文したものを入手することよりも、むしろキリストのうちに、われとわが身を見いだすことであろう。小さなわれ、どんな祈りをしたとて、たがが知れている。大事なことは、神が祈る前に、応えて下さっているということ、あの事、この事ではなく、全生涯を恵みで、すっぽりと包んで下さっているということである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

